

科目名	博物館概論	
担当者	徳永 和喜/ TOKUNAGA, Kazunobu	
科目情報	特別講座科目 / 選択 / 前期 / 講義 / 2単位 / 1年次	
	学芸員科目 / 必修 (平成23年度以前の入学生は「博物館学Ⅰ」へ読替)	
科目概要	授業内容	博物館とは何か。博物館の目的と機能、博物館に関する法規、学芸員の職務などを通して基礎的知識と課題を理解し、高度情報化社会に対応する新しい博物館のあり方を考える。
	到達目標	博物館の歴史や役割の変化を学び、博物館が学校教育・生涯学習に果たす役割を理解する。さらに、博物館が現代社会に果たす多様な役割と目的を認識する。
授業計画	(1) 博物館の基本属性 (館種、設置者、法区分) と特性 (所在地、展示資料) (2) 博物館の起源と歴史、関係法規 (3) 博物館の組織と運営 (4) 博物館の展示 (展示意図、展示場所、展示期間) (5) 博物館の目的 (博物館法、各種博物館とその特質) (6) 博物館の機能 (資料収集、保存展示、調査・研究、教育普及) (7) 学芸員の職務1 (収集・保管・調査・研究) (8) 学芸員の職務2 (常設展示事業と体験学習) (9) 学芸員の職務3 (特別展の実際－企画構想から展示会開催迄) (10) 学芸員の職務4 (特別展図録作成) (11) 博物館と学校教育・地域社会・生涯学習 (12) 博物館相互等の連携 (大学、研究機関、博物館－資料、研究、派遣) (13) 博物館の現状と課題 (コンプライアンス、危機管理、情報の保護・管理) (14) 博物館の収蔵資料情報 (資料台帳、データベース化) (15) 補足とまとめ	
自学自習	事前学習	・「使用教材・参考文献」を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	授業後に課す課題の概要：必要に応じて小テストを実施
使用教材・参考文献	【教】 適宜プリント配布。 【参】 『新しい博物館学』 芙蓉書房出版、『博物館概論』 放送大学教材。	
成績評価方法と基準	〈基準〉 博物館の意義や役割が理解できた者を合格とする。 〈方法〉 試験80%、授業準備・授業態度20%。	
備考		